甲賀市の文化財 50

平安時代の緑色のやきもの 緑釉陶器

毎年秋に開催される奈良の正倉院展には数年に一度、奈良三彩とよばれるやきものが出品されます。奈良三彩は中国の唐三彩をモデルとした美しい色彩のやきものです。都や寺院で有力貴族などが権威の象徴として所持していました。

平安時代になると、平城京周辺で限定的に生産されていた奈良三彩とは異なり、色彩が緑色のみの「緑釉陶器」が各地でつくられるようになりました。この緑釉陶器は都や寺院の遺跡だけでなく、集落の遺跡からも出土しており、権威の象徴から実用性のある器として、地域や階層を越えて普及していったと考えられます。

水口丘陵、特に水口町春日から日野町中山の地域は、近江の緑釉陶器生産の中心地であり、平安時代中期(10世紀)には、全国のシェアのほとんどを占めるまでになっていました。

近年、窯跡やその周辺の遺跡の調査が進み、さまざまな発見が続いています。

広報あいこうか平成21年11月1日号の「甲賀市の文化財」40でご紹介しました春日北遺跡では、その後の調査で合計6基の窯跡が確認されました。なかでも10世紀後半と考えられる4基の窯跡が集中してみつかり、全国各地に供給するため大量生産していた状況がみてとれます。また、銅印が出土し注目されている北脇遺跡からも緑釉陶器が出土しており、窯と集落との関係を考える上で非常に興味深い遺跡となっています。

このたび水口歴史民俗資料館では、近年の調査成果も踏まえ、緑釉陶器をテーマに企画展を開催いたします。『甲賀市史』第1巻「古代の甲賀」に掲載された出土品も展示しますので、ぜひご来館ください。

伴城窯跡出土　緑釉陶器大椀

夏季企画展「平安朝の近江ブランド ―水口丘陵の緑釉陶器生産―」

- **期間**　7月23日(土)～8月31日(水)(木・金休館)
- **開館時間**　10時～17時
- **会場**　水口歴史民俗資料館
- **入館料**　大人150円　小・中学生80円
  ※水口城資料館との共通券あり。毎週土曜日は市内小・中学生とその同伴者は無料

問い合わせ　水口歴史民俗資料館　☎62-7174　FAX63-4737

みんなの窓

いのちを守った「稲むらの火」

「大変だ。津波がやってくるにちがいない。」と、五兵衛は思った。このままにしておいたら、四百の命が、村もろともひとのみにやられてしまう。もう一刻も猶予はできない。

「よし。」

とさけんで、家にかけこんだ五兵衛は、大きなたいまつを持って飛び出してきた。そこには、取り入れるばかりになっているたくさんの稲束が積んである。

「もったいないが、これで村中の命が救えるのだ。」

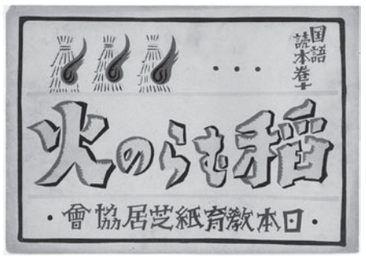
と、五兵衛は、いきなりその稲むらの一つに火を移した。…

これは、1937年(昭和12年)から約10年間、小学校の教科書に載っていた「稲むらの火」の始まりの部分です。このあと物語は燃え上がる稲むらの火におどろいた人々が、高台にある五兵衛の家に集まり、大津波の難をのがれ命を救われるという結末に続いてきます。

このお話は小泉八雲原作の「生き神」というお話をわかりやすくまとめたもので、日本教育紙芝居協会制作の紙芝居として昭和22年ごろまで、各地の小学校で使用されていました。

時は安政元年(1854年)11月5日、夕方四時ごろ、マグニチュード8・4の大地震が発生しました。和歌山県広川町では大津波により、浜に近い家々は倒され、壊れた家がことごとく運び去られてしまったのです。

五兵衛は一年分の収穫したお米(積みわら)に火をつけることで、うす暗がりでにげ道を見つけられずにいた村人たちに生きのびる方向を指し示し、その命を救いました。この知恵と勇気ある決断力に多くの人が心を打たれたのです。



当時の紙芝居の表紙

問い合わせ　人権推進課　人権教育推進係　☎65-0693　FAX63-4582

やりなおせる　社会に　賛成です

7月は、"社会を明るくする運動"強調月間です。

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える甲賀のチカラ～

すべての人が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

第61回となる今年度は、「犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう」「犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう」「これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう」の3つの行動目標を設定し、活動を展開します。

罪を犯した人や非行のある少年を励まし、立ち直りを助け、すべての人が幸せに暮らせる安全・安心な社会を実現するために、この運動に対する市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ　**第61回"社会を明るくする運動"甲賀市推進委員会**
社会福祉課　☎65-0700　FAX63-4085

連続シリーズ　統計からみる　**その1**

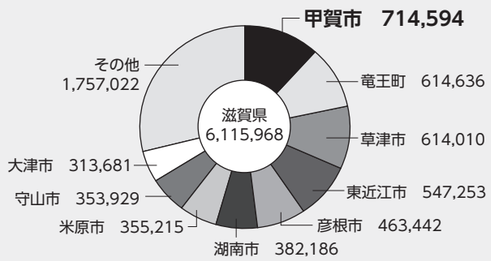
甲賀市なんでもランキング

統計を詳しく見てみると、甲賀市のいろんな姿が見えてきます。今回は「工業統計調査」に注目します。

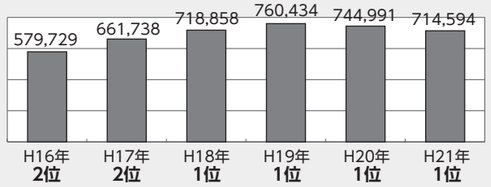
甲賀市は製造品出荷額が県内でナンバーワン！しかも、平成18年以降、出荷額は7,000億円を超え、4年連続で県下トップを維持しています。(ちなみにH21年は近畿で13位)

甲賀市にはモノづくりを得意とする企業がたくさん立地し、活発な経済活動が行われているのです。

平成21年工業統計調査　製造品出荷額等(単位：百万円)



甲賀市　製造品出荷額の推移と県内順位



問い合わせ　総務課　☎65-0663　FAX63-4561

市長への手紙

キリトリ

住所	〒		
氏名		性別	男・女
電話		年齢	歳

◎公表してもよい方は下記の「公表してもよい」に公表してほしくない方は「公表しないでほしい」に○印をつけてください。

内容の公表	公表してもよい・公表しないでほしい